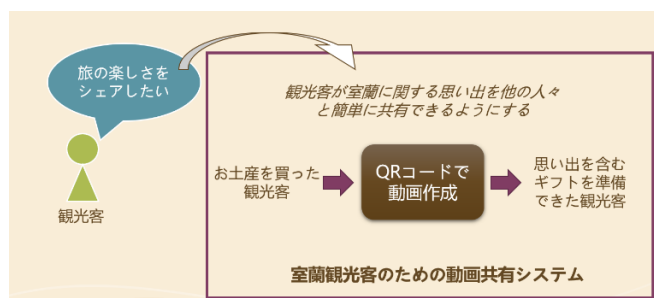


室蘭観光客のための動画共有システム(Video Sharing System for Tourists Visiting Muroran)

応募チーム名：Team AMJ 自治体：北海道室蘭市

(特徴) 室蘭工業大学大学院に所属している三人の外国人留学生（中国人二人とタイ人一人）によるアイデアで、彼らの親元や知人友人に室蘭を知ってもらうにはどうすればよいかから出発して、観光客一般に広く室蘭の魅力を発信してもらいたいというアイデアである。具体的には、室蘭でお土産を買った客がお土産をあげる相手にお土産と共に、自分で撮った動画を見ることができるよう、お土産に QR コードを貼り付けておいて、お土産だけでなく室蘭の様子を動画で共有することができるというアイデアである。外国人留学生の現実の必要性から出てきたという点で、当事者のデザイン思考的な要素が含まれていて、魅力的なアイデアとなっている。



(アドバイス)

1. まずは試して可能性と課題を探ってみる。

室蘭のお土産が多く置いてある場所、例えばみちの駅や JR の駅、などのお土産に学生のボランティアで QR コードを貼付させてもらい、その利用度や課題を探りつつ次のステップへの道筋を検討してはどうかと思います。その際、ターゲット（国内の観光客、海外からの観光客、長期滞在の外国人）をどの層にするのかを意識して進めることが重要だと思います。

2. お土産以外で QR コードを貼付するところの可能性を探ってみる。

一般の観光客を考えれば、お土産以外でも室蘭のパンフレットや案内版にも QR コードを貼付すれば、動画が配信出来て観光客の誘致に有効かも知れません。その場合には、千歳空港や札幌駅でのパンフレットの活用もあるかもしれません。

3. 事業としての展開の可能性を探ってみる。

まずは室蘭ファーストで室蘭から始めるにしても、事業としては北海道全域あるいは全国展開も視野に入れつつ、室蘭工大発ベンチャーとして育てていくことのフィージビリティも将来検討されては如何でしょうか。

4. 室蘭工大への期待

伺ったところでは、今年度、大学三年生を対象に COG に取り組まれる由であるので、課題を抱えた市民チームとの連携を視野に入れて、デザイン思考による人間観察とデータ分析による問題整理に取り組んでいただき、アイデアの説明としては、(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れについて、説得的なストーリーにしあげていただけるとよろしいかと思います。

5. 市役所への期待

引き続き、室蘭工大との連携を図られるとともに、例えば、みちの駅へのつなぎなどの支援を心がけていただけることを期待しております。また、4 に関連して状況に応じて、課題担当課の COG への理解増進にもご尽力いただければ幸いかと存じます。